



様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成27年6月24日

都道府県知事
(市長) 広瀬 勝貞 殿

提出者

住所 佐伯市蒲江大字野々河内浦1317番地

氏名 農事組合法人塩月養豚場塩月啓司
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0972-44-0516

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	農事組合法人塩月養豚場
事業場の所在地	佐伯市蒲江大字野々河内浦979番地
計画期間	平成27年4月1日～平成28年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	01 農業
②事業の規模	母豚80頭一貫経営
③従業員数	3人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	動物のふん尿の自ら堆肥化 (カゴ豚舎) 動物の死体の産廃処理業者に処理依頼

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

塩日拾司(代表者)(廃棄物統括責任者)

- 廃棄物処理方針の決定
- 廃棄物処理に関する各種事項の決定

従業員(廃棄物実務担当者)

- 廃棄物処理計画の作成
- 委託契約の締結事務
- 産業廃棄物管理票の交付 ◦ 行政等への各種報告

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(平成26年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	排出量	2,131 t	0.7 t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	排出量	2,100 t	0.7 t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（平成26年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	2,131 t	3 t
	(これまでに実施した取組) 堆肥化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	2,100 t	
	(今後実施する予定の取組) 堆肥化		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（平成26年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	1,645 t	2.7 t
(これまでに実施した取組) 堆肥化に伴う減量			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1,650 t	t
(今後実施する予定の取組) 堆肥化に伴う減量			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度 (平成26 年度) 実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度 (平成26 年度) 実績】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t
	再生利用業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし	

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の死体	
	全処理委託量	0.6 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 動物の死体は、産業廃棄物処理業者に 委託して適正処理する。		
※事務処理欄			